



『 新型コロナウイルス感染症について 』

昨年度末から流行している新型コロナウイルスのお話です。元々、コロナウイルスは風邪ウイルスの一つですが SARS、MERS コロナウイルスと同様に重症肺炎を起こす新しいタイプであったことから「新型」と呼ばれています。

感染力はインフルエンザの5倍以上、致死率はインフルエンザの10倍以上とされます。感染経路も接触・飛沫以外に空気感染に近いエアロゾル感染もあります。感染制御が難しくインフルエンザ同様に長期流行が懸念されています。過去、世界的に流行したスペイン風邪の場合は終息までに2年かかっており、今回も同程度かそれ以上に流行が続く可能性があります。しかし、今までに例を見ない速さでワクチン開発が行われており、早期終息が期待されます。

今回使用開始となるメッセンジャーRNA ワクチンも「新型」ワクチンであり、安全性や効果持続の問題で一般的に使用されるようになるのにもあと半年かかりそうです。それまでは予防に徹するしかありません。具体的には、3密を避け、うがい、手洗い・手指消毒、マスク着用や30分毎の換気などです。

インフルエンザが今年劇的に少ないのはこれらの予防が功を奏したためと考えられ、コロナも同様に予防できるはずの病気です。それまで皆が「病気を抑え込む」という強い意志をもって予防に徹底することが肝要です。



鹿児島厚生連病院
呼吸器内科部
野元 吉二